

高齢者被害を減らすために ～ 小学校の「福祉」学習での取り組み ～

輪之内町3校の小学6年生は、「福祉」をテーマとした総合学習に取り組んでいます。

「福祉」はとても幅広い意味を持っていますが、今回「高齢者福祉」について、消費者教育と関連して学習しました。高齢になると体が病気がちになるなど、常に心に不安を抱えている事を理解し、高齢者の暮らしの中の社会的問題（高齢者の交通事故、介護問題等）や、高齢者の消費者トラブル（悪質商法の被害事案）について実態を知ること、この被害をなくすための取組みについて、皆で知識を深めました。6年生児童の授業の振り返りの様子を紹介します。

【総合学習：高齢者について学習しよう】児童の感想より

- ・高齢者の3Kの不安で「健康・お金・孤独」といういろいろな不安をかかえていたことが分かりました。そして高齢者の事件が多いこともわかりました。私はおじいちゃん、おばあちゃんを守りたいと思いました。見守り、声かけする、誰かにつなぐという、私にできることをやって守ってあげたいと思いました。(近藤柚貴さん)
- ・ぼくのおばあちゃんは、いつも一人で家にいるので、たまにおばあちゃんの家に行って悩み事を聞いて家族でおばあちゃんを守りたいと思いました。(木野来優さん)
- ・声をかけたりする事は誰でも出来るので、高齢者がいたら声をかけたいです。出来ることは何でもやりたいです。(吉田晴希さん)
- ・私のおばあちゃん、おじいちゃんももう80才になるので、心配だから何回か様子を見に行きたくらいなと思いました。私も高齢者になったら大変だなと思いました。(加納怜奈さん)
- ・ぼくが初めて知ったことは、家族だけでなく地域の人も、高齢者を守るために大切だということです。多くの不安をかかえる高齢者は、心細くなったりして詐欺にあたり、病気にならないよう周りの人が支えることが重要だと思います。(小見山航さん)
- ・詐欺のうらがわには、一人で孤独だけど、話してくれる相手がいて、つい商品を買ったりすることがあることが初めて知りました。足こしが弱かったり、ほかの人の手をかりながら生活しているので、とっても大変な生活だと分かりました。「見守る・声かけをする・誰かにつなぐ」を使ってお年よりの方が幸せにくらせるようにして、今、増え続けている社会問題も少しずつへらしていきたいです。(水谷明日葉さん)

【困り事は、周囲の人や相談窓口へ】

身近にいる高齢者の様子を思い浮かべて、高齢者の方の気持ちを思い、皆で被害をなくせるようにしたいという意見が多く出ました。ご家族の方や地域の人で見守りながら、不審な業者の情報提供や、一人で判断に困ることがあれば、相談窓口をご利用ください。

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) 0584-68-0185
- 消費者ホットライン ☎188